

塚原真梨佳

『戦艦大和の歴史社会学』合評会

日時：3月14日（土）14時～17時

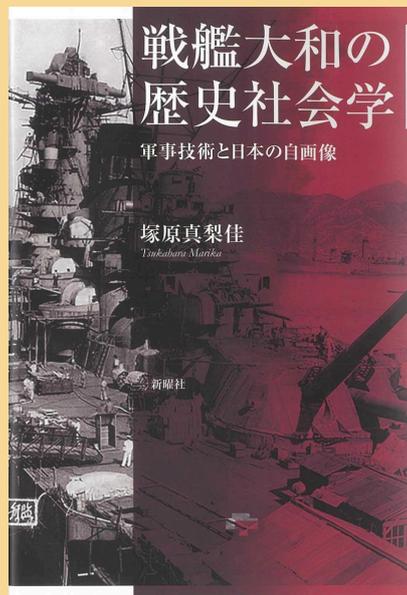
場所：立命館大学朱雀キャンパス307教室

概要

『戦艦大和の歴史社会学』（新曜社、2025年）は、戦艦大和を軸に、軍事技術がいかに「民族の誇り」や「科学技術立国」という自己像として語り直されてきたのかを歴史社会的に解明した一冊である。

本合評会では、阿部潔先生、後藤杏先生からコメントいただき、塚原真梨佳先生に回答していただく。その後、質疑応答に移り、登壇者および参加者とディスカッションを行う。

本合評会が、本書の問題提起を共有し、軍事技術と戦争の記憶をめぐる学術的議論を深化させる契機となれば幸いである。



評者：阿部潔（関西学院大学社会学部教授）

後藤杏（長崎市平和推進課学芸員）

応答者：塚原真梨佳（立命館大学立命館アジア・日本研究機構専門研究員）

司会：角田燎（立命館大学立命館アジア・日本研究機構専門研究員）

参加登録フォーム

会終了後に会場周辺で懇親会を予定しております。

懇親会への参加希望者は、人数把握のために3月11日までに右記参加フォームにご登録ください。

■お問い合わせ先：角田燎 tsunoryu@fc.ritsumei.ac.jp

人文科学研究所事務局 [jinbun@st.ritsumei.ac.jp](mailto:jibun@st.ritsumei.ac.jp)



主催：立命館大学人文科学研究所重点プロジェクト「グローバル化と地域の多様性（diversity）」

共催：科学研究費・基盤研究B「『家族主義レジーム』の変容に関する国際比較研究－家族政策の多様化とその因果的背景」

（研究代表者：加藤雅俊）